

昔なつかしい夏まつりが、昨年7月21日、弦打校区コミュニティ協議会ゆめづくり事業実行委員会、つるうちキッズクラブの主催で開催されました。今回から夕方からの開催に。午後3時30分からはじまったまつりには、浴衣姿の子どもたちが大勢参加して、日暮れとともに、小学校体育館、コミュニティセンターにおいては、大人も子どもも、ドキドキ・ワクワク感に包まれ、真夏の一夜を楽しんでいました。お化け屋敷にはじまり、ステージゾーン、緑日ゾーンなど、趣向を凝らした出し物に酔いしれた、記念すべき大イベントになりました。



夕暮れの緑日ゾーン

真夏の一夜 イベント満喫 ゆめ&キッズ夏まつり



歌やダンスを披露したステージゾーン



つるピーじゃんけん大会

つるピー連旋風 再び

高松まつり総おどり

つるピー連（弦打校区コミュニティ協議会、つるうちキッズクラブを中心に結成）が高松まつり総おどりに参加しました。昨年8月14日、中央通りに着ぐるみのつるピーと、初登場の赤いTシャツ・大旗で元気な弦打をアピールしました。



暗闇に映える、つるピー連の大旗



「さあ踊ろぞ」元気いっぱい、つるピー連



赤Tシャツが登場、一段と華やかに

いきいき人生

～輝くシルバー世代～ 第9回



ほんだ よしこ
本多 由子さん
(95歳、鶴市町)

大正12年7月24日、高松市下笠居で生まれました。隣組に根香寺さんがいる「山の中」の暮らしで、子どものころの楽しみは「すり鉢餅」(ヨモギ入り草餅)作りでした。魚はめったにお目にかかれない土地柄です。その貴重な魚料理の日、親から魚番を頼まれ「見よれよ」と言われたので、じっと「見ている」と猫が大事な魚をくわえてさっと縁の下へ逃げて行きました…。

母が早く亡くなり、寂しい日々でしたが、父は私を師範学校に進学させてくれました。最初の勤務地は小豆島の池田でした。小豆島で3年、下笠居小学校で2年、仕事に熟達した頃、真宗本多庵の叔母の家に嫁ぐことになりました。結婚を契機に家庭に入りましたが、今でも下笠居小学校の卒業生が訪ねてきて、教師時代の話が弾みます。

忘れられない光景に高松空襲があります。昭和20年7

月4日未明にB-29爆撃機の大編隊が焼夷弾と親子爆弾を高松市街に雨あられと投下し、高松中を地獄と化した夜のことです。勝負山から姿を現した敵機が次々と襲い掛かってきました。夜が明けると、焼け出された人々が続々と世にも恐ろしい形相で郷東橋を渡って逃げてきました。

戦後、このあたりの農業用水路の「井手さらえ」をしていると、鍬の先に触れてコトコト音を出すものがありました。それが高松空襲の不発弾でした。

95歳の現在も愛用の「ベンツ」という名の手押し車で田んぼに出て、草抜きをしています。私のベンツが駐車しているのを見ると、近所の人が集まってきて話の輪と笑い声が広がります。

このままボケずに老いたいものです。しかし目が薄くなりました。ときには雑草と作物を間違えて抜いてしまうこともあります。匂いはパッチリです。外からの帰り道、今夜のおかずが何かすぐわかります。耳もよく聞こえるので、私の悪口を言うのは禁物ですよ。さて、健康の秘訣は①人に逆らわない②食事に好き嫌いをしない③早起きを心掛ける、そして④横になって昼寝をしない—ことです。何歳になっても、明るく冗談を飛ばし、趣味の俳句と短歌作りに精を出しています。

今年こそ なしたきことの 様々を
暦にしるし なさず老いゆく

これからも、自分のなしたいこと、なすべきことをカレンダーに記入して、それをしっかり実行したいものです。

(担当：横井義則、平山秀子、井下久美子、神高幸子、明石佐都子)

俳句と短歌作りを趣味に

■男性料理教室好評

平成21年「男女共同参画」事業の一環として発足。22年度から現在まで生活習慣病予防を目的に、年3回土曜(午前9時30分から午後零時30分)、弦打地区食生活改善推進員(保健委員)の指導の下に「男性料理教室」を実施しています。関心のある方はコミュニティセンター(電話087-882-0285)まで申し込んでください。毎回、わいわいガヤガヤ腕を磨いています=写真=。毎日でも、いざという時でも、非常に役立ちます。



■自治会加入促進へパネル展

自治会への加入を呼びかけるパネル展が昨年11月瓦町FLAGで開かれました。市内44コミュニティ協議会の活動をパネルや冊子で紹介、弦打校区からは「安全・安心・

元気いっぱい」とつるピー連や防災活動、藤まつりなどの様子を紹介しました。写真①。また、アートを通じた子どもと高齢者の交流を図る「大きく育て弦打の木」が展示されました。写真②。